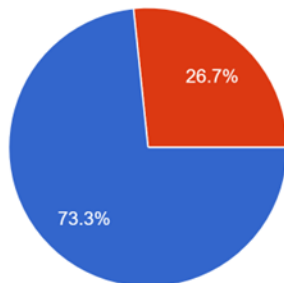


参加者

職種	人数
医師	5
歯科医師	1
保健師・看護師	31
リハビリ職(PT/OT/ST)	2
MSW・社会福祉士	1
主マネ	2
相談員	7
不明	2
合計	51

講演1「症状緩和の基本」
はいかがでしたか

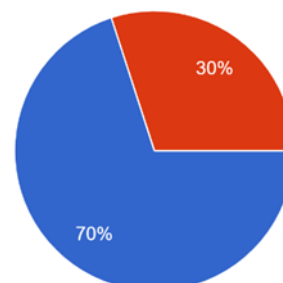
30件の回答



- 大変良かった
- 概ね良かった
- どちらともいえない
- やや不満足

講演2「緩和ケアチームについて」
はいかがでしたか

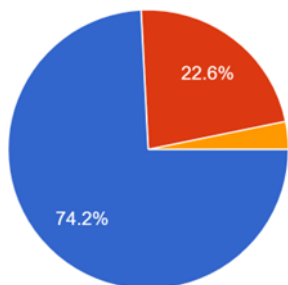
30件の回答



- 大変良かった
- 概ね良かった
- どちらともいえない
- やや不満足

講演3「緩和ケア病棟について」
はいかがでしたか

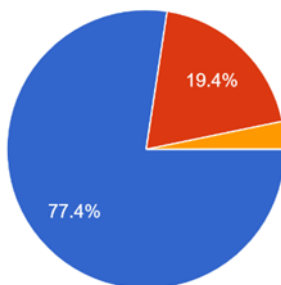
31件の回答



- 大変良かった
- 概ね良かった
- どちらともいえない
- やや不満足

本日の研修は今後の診療や
ケアに役立ちますか

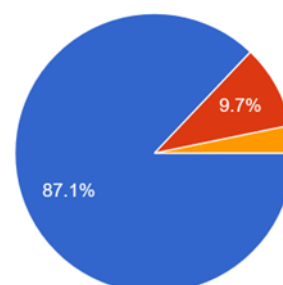
31件の回答



- 大変役に立つ
- まあ役に立つ
- あまり役に立つとは思えない
- 役に立つとは思わない

研修時間はいかがでしたか

31件の回答



- ちょうど良かった
- 短かった
- 長かった

印象に残った言葉や感想等一言お願いします【21件回答】

- ・お看取りの際の意思決定は本人の意思が尊重されるべきだが家族の意向になりつつあり、介護者の親族としての人数が多いほどそうなりやすいという言葉聞いて、本当にそうだなと思いました。いかに本人の意志と家族の意志を近づけられるかが在宅には特に必要になってくるのだと思います。また、家族が介護者になるため家族の意志は変化しやすく本人の意志を代弁する役割としても私たちのような医療者の存在は大きいのだと思います。
- ・緩和ケア病棟では、患者さんが「その人らしく」穏やかな日々を過ごすため、身体や心のつらさをやわらげることを目指している。「その人らしく」とは、患者さんが今まで歩んできた生活の中で、大切に思っていたことを可能な限り実現できるようにすることだと考えている。ここの部分の言葉が印象に残りました。ありがとうございました

- ・その人らしい最期を送るには、多職種連携は大切であり、病院から退院される時には退院前カンファレンスの大切さを改めて感じました。緩和ケア病棟ではその人らしく最期を迎えられる様な関わりをしていて穏やかに過ごせていると感じました
- ・「その人を理解する」相手を理解することで効果は倍増すると思います。その気持ちを大事にしたいと思いました
- ・緩和ケア病棟は一般病棟と違いかなり自由度が高く寄り添った対応をしていることがわかりました利用者さんの希望に合わせて病院でも在宅でも、その人らしく過ごせるように関わる1人として尽力したいと思いました
- ・緩和ケアについて病院の中でも色々な立場の方からのお話が聞けたことで、対象の方にお会いした際にご案内できる情報が増えました。ありがとうございました。最後に港北区の報告や、お話であった在宅での看取りが進まない一つの理由に、家族の気持ちが優先され進まないこともあるかもしれないという話を伺い、その方らしさやその人を中心にといい、日々対象に関わらせていただいているので事の複雑さや難しさを感じました。
- ・具体的に緩和ケア病棟の入所、概要について知る事ができ参考になりました
- ・患者が望む状態に近づくことを目標にしていきたいと思います
- ・バージャー病、モーズペースト治療、緩和ケアマニュアルの存在を知ることができました
- ・講師の皆さんとディスカッションしたかったです
- ・「いつでもどなたでもご相談ください」との言葉に気持ちがしっかり入っている感じ心強かったです
- ・対話、評価を繰り返す重要性
- ・よく観察し理解する 評価を繰り返す
- ・症状の原因に対して積極的治療を選択するよりも患者の望む状態に近づけることが主目標となる
- ・本人らしい生活・人生
- ・緩和ケアの研修は定期的に繰り返し参加したい研修の一つです
今後も開催をよろしくお願いいたします
- ・緩和病棟でされているケアが訪問看護にもつながっていることを感じました
- ・講義ありがとうございました。普段から関わることの多い内容であったのでとても勉強になりました
- ・緩和ケア病棟のことがわかりました 貴重な機会をありがとうございます
- ・貴重な学びの機会をありがとうございました（同様回答：1件）